



うめきた2期区域における環境配慮の取組み 脱炭素都市づくり大賞特別賞を受賞 SITES 予備認証 (GOLD 認証) を取得

独立行政法人都市再生機構（以下、「UR都市機構」）が公民連携の下、三菱地所株式会社を代表企業とするグラングリーン大阪開発事業者JV9社^{*1}（以下、「グラングリーン大阪開発事業者」）と連携して事業を進めているうめきた2期区域（グラングリーン大阪）において、脱炭素都市づくり大賞特別賞を受賞、グローバルな環境認証であるSITESで、都市公園を含む公民連携プロジェクトとして日本初のGOLD認証（予備認証）を取得いたしましたので、お知らせいたします。

今後も令和6年9月の先行まちびらき、令和9年度の全体まちびらきに向けて、民間開発事業と一体となったグリーンインフラの構築及び環境配慮の取組みを進め、その成果の可視化や発信に努めています。



*1 三菱地所株式会社、大阪ガス都市開発株式会社、オリックス不動産株式会社、関電不動産開発株式会社、積水ハウス株式会社、株式会社竹中工務店、阪急電鉄株式会社、三菱地所レジデンス株式会社、うめきた開発特定目的会社

＜本件に関するお問い合わせ先＞

UR都市機構 西日本支社 総務部 総務課（広報担当） TEL：06-4799-1231

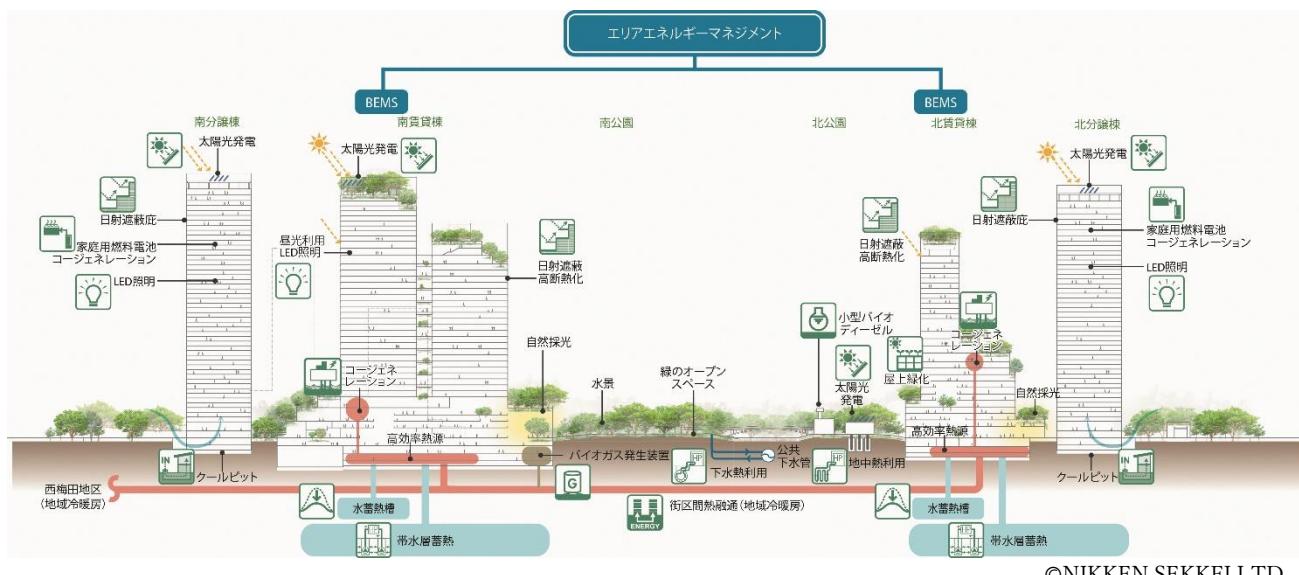
■脱炭素都市づくり大賞について

令和5年度に国土交通省と環境省が共同で創設したものです。2030年度までの脱炭素実現（電力消費に伴うCO₂排出実質ゼロ）を目指し、省エネやエネルギーの効率的な利用により相当規模の脱炭素効果（温室効果ガス排出削減効果）が見込める優れた脱炭素型の都市開発が表彰されるものです。

うめきた2期区域は国家戦略特区を活用した日本初の帯水層蓄熱の実装や下水熱・地下熱の利用など脱炭素技術の新規性、良質な都市の緑地の創出・維持、エネルギーの面的利用の推進などの取組みが評価され、特別賞を受賞しました。

受賞者：三菱地所株式会社、大阪ガス都市開発株式会社、オリックス不動産株式会社、関電不動産開発株式会社、積水ハウス株式会社、株式会社竹中工務店、阪急電鉄株式会社、うめきた開発特定目的会社、独立行政法人都市再生機構、株式会社日建設計、株式会社三菱地所設計

くうめきた2期区域の脱炭素効果のイメージ>



■SITESについて

ランドスケープ（屋外空間）の持続可能性を評価する米国の環境認証です。計画・設計の内容だけでなく、敷地の選定やアセスメント、施工時、施工後の運用維持管理までを対象とし、生物多様性保全や水資源保全、省エネルギー、資源循環、ヒートアイランド現象緩和、健康増進、教育など多面的な要素が評価されるものです。認証レベルは「Certified」「Silver」「Gold」「Platinum」の4段階です。

うめきた2期区域は環境負荷低減に関する取組みが評価され、都市公園を含む公民連携プロジェクトとして日本初となるGOLD認証（予備認証）を取得しました。

受賞者：グラングリーン大阪開発事業者、独立行政法人都市再生機構

<評価項目>

THE Sustainable SITES Initiative®

審査・認証機関

GBCI: Green Business Certification Inc.



- | | |
|---|---|
| 敷地のコンテクスト Site Context | 設計前のアセスメントと計画 Pre-Design Assessment + Planning |
| デザイン - 水 Design - Water | デザイン - 土壤と植生 Design - Soil + Vegetation |
| デザイン - 材料選定 Design - Materials Selection | デザイン - 人の健康とウェルビーイング Design - Human Health + Well-being |
| 施工 Construction | 運用と維持管理 Operation + Maintenance |
| 教育と運用実績のモニタリング Education + Performance Monitoring | 革新的な取組みと模範的パフォーマンス Innovation or Exemplary performance |

＜関連リンク＞

グラングリーン大阪開発事業者報道発表資料

https://umekita.com/teaser_assets/c_assets/topics_pdf/240717_LEED_release.pdf

脱炭素都市づくり大賞（環境省 HP）

<https://policies.env.go.jp/policy/roadmap/prize/>

SITES 公式 HP

<https://sustainablesites.org/>

※本資料で使用しているパース（提供：グラングリーン大阪開発事業者）

＜本件が取り組む SDGs＞



＜UR 都市機構について＞

UR都市機構の歩みは戦後の住宅不足解消に端を発しています。1955年から様々なステークホルダーとともに、時代時代の多様性に即し、安全・安心・快適なまちづくり・くらしづくりを通して、「人が輝く“まち”」の実現に貢献してまいりました。そしてこれからも、変化する社会課題に挑戦し続けることで皆さまにお応えし、「人が輝く“まち”」づくりに不可欠な存在でありたいと考えております。これまで培ってきた持続可能なまちづくりのノウハウをいかし、都市再生事業・賃貸住宅事業・災害復興支援・海外展開支援に全力で取り組んでまいります。

＜UR都市機構公式サイト＞

<https://www.ur-net.go.jp/>



＜うめきた都市再生事務所 Instagram＞

<https://instagram.com/umekita2ur>

